

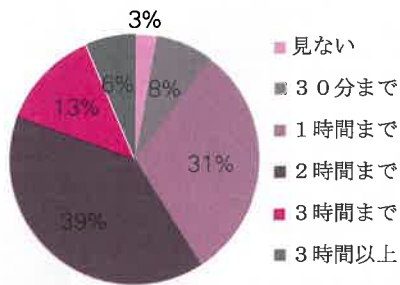
【小学校での取り組み】

中山小「生活アンケート」によると、9割以上の子どもたちがゲームや通信に使う機器等を持っていました。

「1日のメディアにふれる時間」(グラフ1)については、2割の子どもが平日2時間以上、中には平日3時間以上ふれているという子どももいました。

メディア機器にふれる時間が多い子どもほど就寝時刻が

(グラフ1) メディアにふれる時間

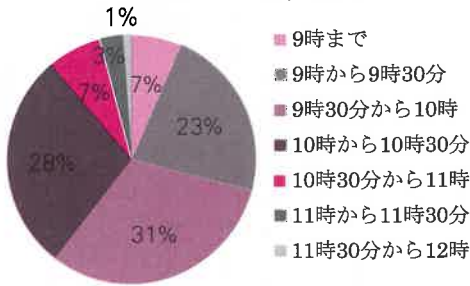


メディアへの対応

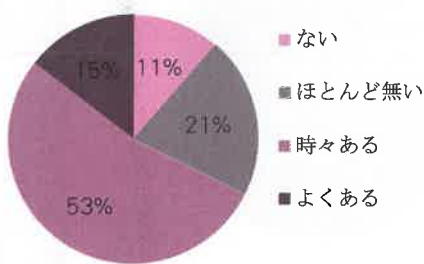
中山中校区の取り組み

遅くなる傾向にあるとともに、「イライラする」子どもの割合も多い結果が見られました。メディア機器との付き合い方が、子どもの学習や生

(グラフ2) 寝る時刻



(グラフ3) イライラする



活に大きく影響していることが分かります。(グラフ2、3) メディア機器利用開始の低年齢化やメディア依存・メディアアトラブルを未然に防ぐために、6年生ではインターネットの中に潜む危険や情報モラルについて、外部講師を招いて学習を深めているところです。

【中学校での取り組み】

中学校では、「いかにメディア機器と、うまくつき合うか」をテーマにした取り組みを実施しています。携帯電話やスマートフォンについては約4割の生徒は使わないようですが、それ以外の生徒は所有または家の人のものを使っている現状です。インターネットやメディア機器を安全に正しく使うために、情報モラルに関する講演会を定期的に実施しています。中学生が巻き込まれやすいメディアアトラブルの事例から、被害者にも加

害者にもならないために大切な知識を高めています。そして、学級でもインターネット・メールの長所と短所、人とのコミュニケーションの在り方について、くり返し学習しています。

また、小学校6年生の児童・保護者を対象とした新入生説明会でも、情報モラル講演会を実施しています。メディア機器の持つ長所と短所を踏まえ、家庭内ルールを作り、そのルールを守ることの大切さを確認しています。

【保小中連携の取り組み】

生活の一部になってくるメディア機器との付き合い方について、家庭と保育園・小学校・中学校が共に考える取り組みを始めています。園や学校が独自に実施していたノーメディア週間を、本年度から兄弟・姉妹関係も考えて同じ時期に統一し、実施することにより、家族全員で取り組みやすくしました。

保育園では、絵本の読み聞かせや読書、家族とのふれ合いの時間がもてるように取り

(表1)

ノーメディアにチャレンジ！！	
第1回 ノーメディア週間(6月21日(火)～6月27日(月))	
年 組 名 義	
家族でチャレンジしてみてください。あなたはこのコースでチャレンジしますか？	
Aコース	こはんの時間はテレビを消します。*
Bコース	テレビ、ゲーム、パソコンは1日()時間にします。*
Cコース	()時以降はテレビ、ゲーム、パソコンを消します。*
Dコース	1日中テレビ、ゲーム、パソコンをつけません。*
()内は各自家で決めてください。	

組んでいます。小学校・中学校ではPTA主催で、生活時間を使い方を児童・生徒が家族と相談し、決めたことを実行することで、自律的な生活づくりに役立つ取り組み(表1)となっています。ルールを意識しながら生活することは、子どもたちがメディア機器を安全に正しく使うことにつながっています。

これからも子どもたちを取り巻くメディア環境は新たな魅力とともに変化していくことが予想されます。子どもたちが、メディアとうまく付き合っていくために、保育園・小中学校・保護者・地域が連携して、協力を深める取り組みを進めていきたいと考えています。